

第22回北勢線の魅力を探る 「蓮花寺から北別所に息づく里山を歩く」

開催日：2014年4月6日（日）

参加者：98名

協力：慈航寺、西方寺、聖衆寺

在良駅～宇賀神社～蓮花寺～白山神社～鉄塔のみち

今回は、午前のウォーキングと午後からの「北勢線百周年記念集会」まで、メーテレ(名古屋テレビ)の取材を受けた。不安定な天候の中、取材陣と一緒に在良駅を出発した。最初に宇賀神社にお参りした。16世紀中ごろ以前より、この地に鎮座したといわれている。戦国時代、蓮花寺東城主の後藤庄左衛門氏篤が厚く崇敬したと伝えられ、永禄年間に織田信長の北伊勢侵攻の戦火により焼失したと伝えられる。近年では、明治17年(1884)に造営替え



宇賀神社

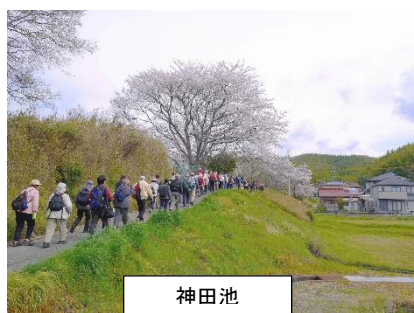


蓮花寺鐘楼

を行い、地元の鎮守神として現在に至っている。

宇賀神社南側に広がるあたりは周知の宇賀遺跡である。発掘調査の結果、縄文時代の自然流路など貴重な遺跡・遺物が検出されたが、現在は住宅団地化してしまった。

白山神社参道階段を北に上がる途中に蓮花寺がある。この地には鎌倉時代に蓮華寺という大きな寺があり、無住国師が住んでいたと伝えられる。太平洋戦争前までは総仏堂という説教所であったが、昭和33年(1958)に建替え、総仏山蓮花寺と名付られた。鐘楼の梵鐘は元は員弁郡中里村の深尾山薬王庵のものである。今は中里ダムの湖底に沈んでしまった。明治29年製である。戦時中に金属供出されたので、こぶし大の穴が開けられている。



神田池

森を抜けて蓮花寺住宅団地の中に入り、灌漑用溜池である神田池(じんでんいけ)の土手道は桜の老木がちょうど満開であった。かつての桜の名勝「蓮花寺の千本桜」の名残を惜しみながら蓮花寺川の上流へと歩いた。蓮花寺住宅北側の諸戸苑

脇の東名阪高速道路を潜り、山道に入った。宅地開発が及んでいない昔ながらの里山である。最上部に携帯電話会社のアンテナの鉄塔が聳えているので、勝手に「鉄塔のみち」と名付けた。名阪高速道路を上から臨み、西方の丘陵地を遠望する里山の原風景に歴史の営みを感じさせられる。



鉄塔のみち

慈航寺～藤が丘デザイン公園

大山田団地の一角にある新しいお寺が慈航寺である。この寺は寛永18年(1641)知忍(智忍)上人によって今の長島町千倉に開基されたが、長良川河口堰建設にともなう河川改修に



よって平成元年(1989)に当地に移転された。

慈航寺からは団地を通り藤が丘デザイン公園に行く。デザイン公園は沢山の種類の桜が植樹されていて長い期間花見が出来る桜の名所だ。珍しい御衣黄桜が散歩道にある。平成2年4月に大阪鶴見緑地で開催された「国際花と緑の博覧会」の国際陳列館のシンボルモニュメントとして作られたものが、寄贈されて移築されている。

西方寺～西方竹林～聖衆寺

国道 258 号（大桑国道）を跨ぐ大桑橋を渡って坂道を進むと南之広溜池の傍らにある西方寺で御住職のお話を聞きした。西方寺は西方道場として長らく村持ちの惣道場であったが、昭和 27 年 8 月寺号免許を受けて西方寺と改称した。元は 500 年離れたところにあったが、道路拡幅のため、昭和 57 年に現在地へ移転した。



竹林の中の溪流「式部泉」は平安時代中期の女流歌人・和泉式部が此処で、和歌を詠んだとも伝えられる場所である。異説では山本式部という武将の首を洗ったとも言われる。よく手入れされた竹林の小道は散歩道である。

式部泉の終点に「どぶつつあん（土仏山）」と呼ばれる真言宗の聖衆寺（せいしゅうじ）がある。室町時代後期には千人余の僧兵と 43 の僧坊があったと言われ、広大な寺領を持っていたとされるが、織田信長勢によって焼かれた。江戸時代に元瓦師の僧信行がここに隠居して、大きな瓦焼の阿弥陀如来坐像を作り本尊とした。



日本唯一の三崎踏切

丘陵地帯を下り、三崎踏切に達した。線路幅は近鉄が 1,435mm の標準軌、JR が 1,067mm の狭軌、北勢線が 762mm の特殊狭軌（ナローゲージ）で、3 つの異なる線路幅が揃う日本で唯一の踏切である。ここからすぐの西桑名駅で一応解散した。

付 北勢線開業 100 周年記念集会 報告

午後は「くわなメディアライヴ」で集会を行い、約 100 人の方が参加された。近藤順子代表の挨拶に続き、水谷俊郎氏（北勢線事業運営協議会会長・東員町長）および雨澤隆雄氏（三岐鉄道株式会社取締役鉄道部長）から来賓挨拶があった後、名古屋テレビ制作の北勢線の DVD 上映と西羽晃制作のスライドによる北勢線の歴史を見て、参加者から北勢線に対する熱い思いを語ってもらった。その後で「北勢線のうた」大西進作詞作曲を作曲家の指揮で参加者全員で歌った。次に「北勢線の歌謡」八島保孝作詞・日下裕之作曲・畑中まさ子独唱発表があった。他に北勢線沿線のスケッチ展示（東員絵手紙サークル）。

